

令和4（2022）年度

自己点検評価報告書

情報ビジネス科

**（情報経理科・情報経理専攻科・総合ビジネス学
科）**

（令和5年（2023年）6月15日作成）

徳山総合ビジネス専門学校

評価項目の達成及び取組状況

※令和4年度より、商業実務科は情報ビジネス科に改名。情報経理科、情報経理専攻科、総合ビジネス学科の三学科を総称する学内での呼称である。

(1) 教育理念・目標

評価項目及び短評	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
<p>①学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)。 事業計画で明確にしている。学校パンフレットの更新が必要である。</p> <p>○学則 ○事業計画書 ○学校パンフレット</p>	<p>4 ● 3 2 1</p>
<p>②学校における職業教育の特色は何か。 幅広く学び、思うところをより深く極める。 情報ビジネス学科は、簿記とPCを基軸とした総合ビジネス教育を展開している。</p> <p>○事業計画書 ○学校パンフレット</p>	<p>● 4 3 2 1</p>
<p>③社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか。 構想は大項目としてはあるが、中項目まで詰める必要がある。</p> <p>長期的構想 準学校法人化 中期的構想 時代に即応した技能教育の具体化 短期的構想 資格取得率の向上</p> <p>○事業計画書</p>	<p>4 ● 3 2 1</p>
<p>④学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか。 受験者には、原則オープンキャンパス参加を求めている。受験者及び保護者への周知はできているが、高等学校進路指導担当教員への周知が十分とはいえない。高校訪問を通して周知していく必要がある。</p> <p>1. オープンキャンパスで説明している。 2. HPに掲載している。 3. 山口県の進学ガイドへ掲載している。 4. 徳山商工会議所の企業ガイドへ掲載している。</p>	<p>4 ● 3 2 1</p>

<ul style="list-style-type: none"> ○オープンキャンパス実施要領 ○HP ○山口県進学ガイド ○徳山商工会議所企業ガイド 	
<p>⑤学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか。</p> <p>職業訓練科のニーズの把握及び結果分析マニュアルを準用する。出入国在留管理局の動向を追加する。就職担当学会議及び企業合同説明会へ教員が出向き、意見をきいている。今後は、更に地元企業を対象としたアンケート調査を実施する。（令和3年度計画段階）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ニーズの把握及び結果分析マニュアル ○山口労働局HP ○徳山ハローワーク職業訓練担当者へのヒアリング ○徳山ハローワークのバランスシート ○山口しごとセンター 就職担当学会議資料 企業合同説明会 	4 ● 3 2 1

(2) 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
<p>①目的等に沿った運営方針が策定されているか。</p> <p>事業計画において運営方針を策定している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事業計画書 	● 4 3 2 1
<p>②運営方針に沿った事業計画が策定されているか。</p> <p>事業計画書を策定している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事業計画書 	● 4 3 2 1
<p>③運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか。</p> <p>組織図及び組織規程等を策定している。組織規程に沿った部署において、各業務のマニュアル化を更に行う必要がある。（令和3年度マニュアル化を促進する必要があった。また、有効に機能しているかに対し、発達段階である。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○組織図 ○組織規程 ○運営会議規程 	4 ● 3 2 1

<p>④人事、給与に関する規程等は整備されているか。 就業規則及び給与規程等で整備している。 (新型コロナウイルス感染拡大下において学生数の減少に耐えうる財務体質への改善が求められる。就業規則及び給与規程等の整備と見直しが求められる。) 教職員の行動規範を定めている。(SDGs宣言を行ったことに伴う行動規範の整備と見直しが必要である。)</p> <p>○就業規則 ○給与規程 ○行動規範</p>	<p>4 ● 3 2 1</p>
<p>⑤教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか。 意思決定は、運営会議の意見をきいて、校長が決定する。 運営会議規程を策定している。 組織図及び組織規程・経理規程等を整備している。 (今後、組織の若返り対応が求められる。)</p> <p>○運営会議規程 ○組織図 ○組織規程 ○経理規程</p>	<p>● 4 3 2 1</p>
<p>⑥業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか。 教職員の行動規範を定めている。 (新規採用者への行動規範の周知を実施する必要がある。併せて、再度、中核的教職員への周知・確認をする必要がある。)</p> <p>○行動規範</p>	<p>4 ● 3 2 1</p>
<p>⑦教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。 情報公開は、HPに項目を作成し、適時更新をしている。 (HPの更新を行い見やすくなったとの評価を得ている。情報公開を促進する必要がある。)</p> <p>○HP</p>	<p>4 ● 3 2 1</p>
<p>⑧情報システム化等による業務の効率化が図られているか。 各種会議内にネットワーク会議を設置している。 学内ネットワークシステムはあるが、効率化の点で課題があり、再構築の必要がある。 再構築について、現在検討中である。 (令和4年度は計画段階まで来ているが、経費面がクリアできてい</p>	<p>4 3 ● 2 1</p>

<p>ない。)</p> <p>○組織規程内に各種会議内ネットワークシステム会議の規定 (職業訓練科でeラーニングの構築が進んでいるので、それに 応じた整備が必要である。)</p>	
<p>⑨留学生に対し、日本語教育機関の告示基準に準じた対応ができてい るか。 各種会議内に自己点検評価会議を設置し、点検をし、適合の報告を受 けている。</p> <p>○専修学校設置基準 ○日本語教育機関の告示基準 ○2022点検報告書</p>	<p>● 4 3 2 1</p>

(3) 教育活動

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
<p>①教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されてい るか。 教育課程の編成・実施方針等を策定している。</p> <p>○事業計画書</p>	<p>● 4 3 2 1</p>
<p>②教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限 に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされている か。 事業計画書に記載している。</p> <p>○事業計画書</p>	<p>● 4 3 2 1</p>
<p>③学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか 情報ビジネス学科は、職業教育・キャリア教育財団のジョブパス 3級・2級と情報処理推進機構のITパスポートを基に体系的に編 成している。 専門士レベル＝ジョブパス3級 高度専門士レベル＝ジョブパス2級</p>	<p>● 4 3 2 1</p>
<p>④キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラム や教育方法の工夫・開発などが実施されているか。 情報ビジネス学科は、実務経験者が授業を行うように編成してい る。(キャリア教育について、キャリアコンサルタントの国家資格</p>	<p>4 ● 3 2 1</p>

<p>者の設置を検討している。) 視聴覚教材の活用が課題である。 ○実務経験者一覧表</p>	
<p>⑤関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか。 関連分野の企業・関係施設・業界団体との情報収集は行っているが、今一步踏み込んだ連携が課題である。 (商業実務科で税理士事務所へ就職した学生がいる。税理士を目指している。この学生等を通じて、連携を検討する必要がある。)</p>	<p>4 3 ● 2 1</p>
<p>⑥関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか。 職業訓練科では、企業実習付きの訓練を実施している。これと同等に学校が教育意図をもって産学連携で実施するインターンシップ・実技・実習は未整備である。企業との連携はないがインターンシップは適時必要に応じて実施している。 将来的には、販売実習施設など検討し、学校の教育意図のもとに教育課程に組み込んだ実施が課題である。 ○インターンシップ実施要領</p>	<p>4 3 ● 2 1</p>
<p>⑦授業評価の実施・評価体制はあるか。 授業評価に係る規程を整備している。情報ビジネス科は、成績評価と結果についてHPで公開している。 ○モニタリング実施要領</p>	<p>● 4 3 2 1</p>
<p>⑧職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか。 学校関係者評価会議を設置し、規程を整備している。 ○学校関係者評価会議</p>	<p>● 4 3 2 1</p>
<p>⑨成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか。 成績評価・単位認定、進級・卒業判定に関する規程を整備して、基準を示している。 ○成績評価・単位認定、進級・卒業判定に関する規程</p>	<p>● 4 3 2 1</p>
<p>⑩資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。 資格取得に関する指導は、教員会議が行う。 各種会議の中に資格取得会議を設置し、統括する必要がある。 情報ビジネス学科は、総合ビジネス教育の中で、各教育分野に該当する資格を示し位置付けている。</p>	<p>● 4 3 2 1</p>

<p>⑪人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか。</p> <p>職業訓練のキャリアコンサルティング研修及び財団のキャリア・サポータ研修を受けた教員がキャリア教育として授業を実施している。今後は、キャリア・サポータ研修参加者を増やしていくことを検討している。今後は、キャリアコンサルタント（国家資格）の取得を含め有資格者の配置が課題となっている。</p>	<p>4 ● 3 2 1</p>
<p>⑫関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか。</p> <p>日本語学科はマネジメントシステムを持っている。情報ビジネス科は、日本語学科のマネジメントシステムを準用して整備中である。情報ビジネス科では、実務経験者を教員として採用しているが、業界との連携等で組織的に行うことが課題である。</p> <p>○実務経験者一覧</p>	<p>4 3 ● 2 1</p>
<p>⑬関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか。</p> <p>各種会議内にFD会議を設置し、研修や教員の指導力育成など資質向上に資する対応をする体制がある。研修会参加者による報告を、FD会議を通して各教職員が個々に学内ネットワークで共有化できるよう検討する必要がある。</p> <p>主な参加研修会</p> <p>○山口県専修学校協会の教員研修会</p>	<p>4 ● 3 2 1</p>
<p>⑭職員の能力開発のための研修等が行われているか。</p> <p>各種会議内にSD会議を設置し、職員の能力開発に資する体制がある。研修会参加者による報告を、SD会議を通して各教職員が個々に学内ネットワークで共有化できるよう検討する必要がある。</p> <p>主な参加研修会</p> <p>○山口県経営者協会主催の職員研修会</p> <p>○徳山商工会議所主催の職員研修会</p>	<p>4 ● 3 2 1</p>
<p>⑮理念・教育目標に合致したコースを設定し、カリキュラムを体系的に編成しているか。</p> <p>情報ビジネス科では職業教育・キャリア教育財団のジョブパス及び情報処理機構のITパスポートを基に体系的に編成している。</p> <p>○事業計画</p>	<p>● 4 3 2 1</p>
<p>⑯留学生に対し、授業開始前までに学習者の日本語能力を試験等で判定し、適切なクラス編成を行っているか。</p>	<p>4 ● 3 2 1</p>

情報ビジネス科は簿記の資格取得には一部能力別編成をしている。事例：3級と2級のクラス分け、一部能力の高い外国人留学生で簿記検定の受験に際し、日本人学生授業へ組み込み対策授業実施	
⑰教員の能力、経験等を勘案し、適切な教員配置をしているか。 情報ビジネス学科は、実務と資格のキャリアにより配置している。 ○事業計画書	● 4 3 2 1
⑱授業記録簿等を備え、実施した授業を正確に記録しているか。 講義録及び出席簿により記録している。 ○講義録及び出席簿	● 4 3 2 1
⑲理解度、到達度の測定と評価を実施期間中に適切に行い、その結果を的確に学生に伝えているか。 職業訓練科の理解度、到達度の測定と評価の諸規程を各科に準用する。前期及び後期（学年末）に試験を実施し、測定をし、評価を学生へ伝えている。 ○試験規程 ○成績測定及び評価についての規程	● 4 3 2 1
⑳授業評価を含む教育活動の評価を定期的に行っているか。 各年度末に各種会議内の予算編成会議において各科の事業計画書に基づいて教育活動の評価を行う規程を整備している。現段階では、不定期に実施している。 ○事業計画評価報告書	4 ● 3 2 1
㉑校長、主任教員、専任教員及び非常勤教員の職務内容を明確に定めているか。 組織規程で明示している。更に、具体化して明確に示す必要がある。	4 ● 3 2 1
㉒教職員の教育力及び支援力強化のための研修等を実施すると共に、他機関の実施する研修会等への参加を促している。 各種会議でFD・SD会議を設置し実施する。会議のやり方の簡素化が課題である。学内のネットワークの共用部分の活用など Zoomでの研修参加も実施している。 ○FD・SD会議に係る規程	4 ● 3 2 1
㉓教員評価を適切に行っている。 職業訓練科のマネジメントシステムに教員評価について明示している。この規程を基に情報ビジネス科の教員評価の規程に準用・整備し、一部教員に対し実施している。 ○マネジメントシステムにおける教員評価に係る規定	4 ● 3 2 1

○教員自己評価表

(4) 学修成果

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
<p>①就職率の向上が図られているか。</p> <p>学生支援センター室にアルバイト・就職支援係を設置している。職業訓練科のキャリアコンサルティング及び就職後のモニタリングの諸規程を各科に準用する。就職率は、日本人学生では向上しているが、留学生では進展していない。特定技能1号の分野も含め、再度、戦略を検討する必要がある。</p>	<p>4 ● 3 2 1</p>
<p>②資格取得率の向上が図られているか。</p> <p>情報ビジネス科の各授業科目は、各資格の検定試験に対応している。検定試験は各授業担当者から随時告知される。</p> <p>一日の最後の授業を資格取得率を上げるために活用している。学内で受験が可能な場合は、試験会場申請を行う。</p> <p>学外での受験は、教員が引率したり、会場で激励したりして取得向上を図っている。簿記検定・PC文書作成技能検定に留学生の合格者ができるようになった。日本人学生は、各自の就職と関連付けて検定を受検する傾向がある。幅広い検定受験への指導が必要となっている。</p>	<p>4 ● 3 2 1</p>
<p>③退学率の低減が図られているか。</p> <p>出席状況の把握を毎日行い、出席していない学生には連絡して出席を促している。欠席日数によって警告1・2・3として掲示と指導を行う。</p> <p>学生支援センター室に学習支援係を設置している。</p> <p>経済的支援が必要な学生に対し修学支援制度の機関認定を受け、認定を受けている。更に、学校独自の奨学金制度を設置している。低減策を講じているが、新型コロナウイルス感染下で母国での経済状態が悪くなつての退学者が出ている。</p>	<p>4 ● 3 2 1</p>
<p>④卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。</p> <p>学生支援センター室が証明書発行の際、現状の把握をしている。</p> <p>職業訓練科で就職後の状況把握についてモニタリングの規程を整備しているので、これを準用する。</p> <p>教育効果と関連付けて把握を強化する必要がある。</p>	<p>4 ● 3 2 1</p>
<p>⑤卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に</p>	<p>4 ● 3 2 1</p>

<p>活用されているか。</p> <p>職業訓練科で入校時の面接から訓練の理解度・到達度の測定、就職後の状況把握といったトレースを行う諸規程を整備している。今後、各科で個別学生ごとのトレースを行い教育活動の改善に活用したい。現状では、一部の学生のトレースを終え、教育活動の改善に活用している。</p>	
--	--

(5) 学生支援

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、やや不適切… 2、不適切… 1			
<p>①進路・就職に関する支援体制は整備されているか。</p> <p>組織図に学生支援センター室を明記し、進路係とアルバイト・就職支援係を設置している。</p>	● 4	3	2	1
<p>②学生相談に関する体制は整備されているか。</p> <p>組織図に個人情報・ハラスメント等相談係を設置している。職業訓練科の相談体制及び諸規程を各科に準用する。</p>	● 4	3	2	1
<p>③学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。</p> <p>本学は、Tokubi 育英奨学金制度を設け、全学生に対し、経済支援を実施している。学生支援センター室の学生支援会議に日本学生支援機構の担当を設置している。地域コミュニティからの支援については、学生支援センター室が対応し、HPで公開して顕彰している。</p>	● 4	3	2	1
<p>④学生の健康管理を担う組織体制はあるか。</p> <p>学生支援センター室に保健係を設置している。ゲストルームとの併用ではあるが、保健室を確保している。</p>	● 4	3	2	1
<p>⑤課外活動に対する支援体制は整備されているか。</p> <p>学生支援センター室にボランティア係を設置し課外活動を支援している。</p>	● 4	3	2	1
<p>⑥学生の生活環境への支援は行われているか。</p> <p>学生の生活環境への支援は、学生支援センター室が行う。学生寮を整備し、生活用品一式を手配している。</p>	● 4	3	2	1
<p>⑦保護者と適切に連携しているか。</p> <p>日本人学生は、適時、保護者と連絡をしている。留学生は、保護者との連絡を、仲介機関を通して行っている。</p>	4	● 3	2	1
<p>⑧卒業生への支援体制はあるか。</p> <p>卒業後も1年間は就職等の支援を行っている。</p>	● 4	3	2	1

日本人学生は、しゅうなん若者サポートセンターと連携している。	
⑨社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。 生涯学習施設としてライセンスアカデミー徳山を設置している。株式会社クレアールの通信教材を提供している。	● 4 3 2 1
⑩高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか。 株式会社アンカーの企画による高等学校職業紹介授業に参加し経理事務・一般事務のコーナーを設定し説明している。 多文化共生社会というテーマで一部高等学校と連携で交流を持っている。今後、高校との独自の連携が課題である。	4 ● 3 2 1
⑪外国人留学生在が日本社会を理解し、適応するための取り組みを行っているか。 情報ビジネス学科は、コミュニケーション分野の教育で日本事情について授業科目設定し、日本人学生との交流会も設けている。	● 4 3 2 1
⑫進路指導を適切に行っているか。 モニタリングを実施し、指導を行っている。	● 4 3 2 1
⑬重篤な疾病や傷害のあった場合の対応を定めているか 職業訓練科で訓練手引きや危機対応の規程で明示している。 対応については、今後、学生支援センター室の保健係で準用する。学生支援センター室がこれまでに幾つかの対応をしてきた経験を有している。今後、経験を基に、対応のマニュアル化を行うことが課題である。	4 ● 3 2 1
⑭入管法上の留意点について留学生への伝達、指導等を定期的に行っている。 学生支援センター室で留学生が注意すべき事項を教室に掲示している。また、定期的に全学生に対し、ヒアリングを実施している。	● 4 3 2 1
⑮不法残留者、資格外活動違反者、犯罪関与者等を発生させないための取組みを継続的に行っている。 学生支援センター室が継続的に実施している。実施方法について、効果的方法（視聴覚教材等・事例：NHK報道番組など）の活用が課題である。	4 ● 3 2 1

(6) 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
<p>①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。</p> <p>各種会議内の自己点検評価会議で施設・設備について点検している。</p> <p>職業訓練科で訓練実施まえの施設・設備の点検・使用方法の確認・安全性について諸規程を整備し、各科で準用するようにする。</p> <p>PC教室のPCの更新を行っていただいた。さらに、授業のビジュアル化のための設備更新が課題である。</p>	<p>4 ● 3 2 1</p>
<p>②学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか。</p> <p>情報ビジネス科では実習科目及び海外研修を実施していない。インターンシップは、実施要領により、各学生の希望によりインターンシップを実施している。</p> <p>○インターンシップ実施要領</p>	<p>● 4 3 2 1</p>
<p>③防災に対する体制は整備されているか。</p> <p>自主防災組織の規程を作成している。</p> <p>今後、南海トラフ地震の防災規程の整備が課題である。</p> <p>○自主防災規程</p>	<p>4 ● 3 2 1</p>
<p>④教室内は十分な照度があり換気がなされていると共に、語学教育に必要な遮音がなされているか。</p> <p>職業訓練科で環境安全衛生マニュアルを整備している。</p> <p>これを各科へ準用していく。</p> <p>測定結果は適切な環境と判断される。</p> <p>○環境安全衛生マニュアル</p>	<p>● 4 3 2 1</p>
<p>⑤授業時間外に自習できる部屋の確保に努めているか。</p> <p>みなとキャンパスにブレイクスルーを設置し、自習に充てている。</p>	<p>● 4 3 2 1</p>
<p>⑥法令上必要な設備等を備えているか。</p> <p>学校教育法、専修学校設置基準、日本語教育機関告示基準に</p>	<p>● 4 3 2 1</p>

よって設備を整備している。 学生の福利厚生施設等の整備が課題である。	
---------------------------------------	--

(7) 学生の受入れ募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
<p>①学生募集活動は、適正に行われているか。</p> <p>各種会議内に学生募集会議を設置し、学生募集の適正化を図っている。</p> <p>日本人学生は、学生募集要項を作成して適正に実施している。</p> <p>留学生は、海外の仲介機関の選定の適正化など諸規程を作成し、学生募集要項を作成して適正に実施している。</p> <p>日本人学生及び留学生の学生募集要項・学園案内の更新をする必要がある。</p>	4 ● 3 2 1
<p>②学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。</p> <p>日本人学生は、在籍学生の状況をデータ化し、高校訪問時・オープンキャンパス時に説明をしている。留学生は、仲介機関への学生募集要項に資料を添付して説明している。</p> <p>情報ビジネス学科は、新しい修学支援制度の機関認定を受けてHPに教育成果を掲載している。</p>	● 4 3 2 1
<p>③学納金は妥当なものとなっているか。</p> <p>学納金は、近隣の専門学校の情報を収集し、妥当なものと考えている。</p>	● 4 3 2 1
<p>④教育内容を含む最新、かつ、正確な学校情報を開示している。これらは想定する入学志願者の理解できる言語で行うよう努めているか。</p> <p>学校情報を開示している。</p> <p>学校情報は、国際的言語である英語で表記しているが、他の言語での表記も必要である。</p>	4 ● 3 2 1
<p>⑤海外の募集代理人（エージェント等）の行う募集活動が適切に行われていることを把握しているか。</p> <p>留学生の仲介機関（募集代理人）は、適切に選定するための諸規程</p>	4 ● 3 2 1

を整備している。以前は、機会を得て現地訪問を実施していたが、令和3年度は実施していない。	
⑥入学者の選考に関し、学習能力、勉学意欲、経費支弁能力、日本語能力等について根拠資料で確認する等、適切な方法により確認しているか。 日本人学生は、入学願書等書類と高校からの調査書で確認している。留学生は、入国管理局提出書類とインターネットを使った面接で確認している。	● 4 3 2 1
⑦入学者の選考に当たっては、学校関係者(職員等)が面接等を行うよう努めているか。 各種会議内の学生募集会議の教員が面接を行っている。	● 4 3 2 1

(8) 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
①中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。 本学の主たる収入源は、外国人留学生による。日本は多文化共生社会が進展していることから外国人留学生が入学できる環境が確保されれば中長期的に安定しているといえる。令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大、国際関係上の問題など想定外の問題が発生したことにより、外国人留学生の募集ができず、令和5年・6年と一時的に厳しい状況が生じる。このことについては、学内で認識され、当面の対策も立てられている。	4 3 ● 2 1
②予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。 各種会議内に予算編成会議を設置している。 過去3年間の収支計画は、有効かつ妥当なものとして推移している。	● 4 3 2 1
③財務について会計監査が適正に行われているか。 本学は、個人立の学校であるので、税理士事務所に監査を依頼している。 過去3年間において適正に処理されている。	● 4 3 2 1
④財務情報公開の体制整備はできているか。 2019年度以降、新しい修学支援制度の機関認定を受けている。機関認定の情報はHPで公開し、情報請求者に対し公開する形をとっている。	● 4 3 2 1

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
①法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。 専修学校実態調査、日本語教育機関実態調査等各種調査を通じて、関係法令との関係を調査し、適正な運営を行っている。	● 4 3 2 1
②個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。 職業訓練科で個人情報保護規定、プライバシーポリシーを整備し、これらを準用している。	● 4 3 2 1
③自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。 各種会議内に自己点検評価会議を設置し、自己評価を実施し、問題点の改善を行っている。	● 4 3 2 1
④自己評価結果を公開しているか。 自己評価結果は、2019年度からHPで公開している。	● 4 3 2 1
⑤法令遵守に関する担当者を定めている。 法令順守の担当者は、事務長とする。 事務長の補佐として、顧問を設置した。	● 4 3 2 1
⑥教職員のコンプライアンス意識を高めるための取組みを行っている。 職業訓練科で行動規範を定めており、これを準用する。	● 4 3 2 1
⑦個人情報保護のための対策をとっている。 職業訓練科で個人情報保護規程、プライバシーポリシーを整備しており、これを各科に準用する。	● 4 3 2 1
⑧入国管理局、日本語教育振興協会及び関係官庁等への届出、報告を遅滞なく行っている。 入国管理局、日本語教育振興協会及び関係官庁への届出、報告は届出を行っている。届出は行っているがスピード感をもって処理をすることが課題である。	4 ● 3 2 1

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っている	● 4 3 2 1

<p>るか。</p> <p>情報ビジネス科は、職業訓練科を設置し、社会貢献・地域貢献として職業訓練を実施している。</p>	
<p>②学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。</p> <p>学生の自主的ボランティア団体はないので育成を支援することが課題である。</p> <p>学生支援センター室内にボランティア係を設置し、活動を支援している。</p>	<p>4 ● 3 2 1</p>
<p>③地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか。</p> <p>職業訓練科を設けて、公共職業訓練及び求職者訓練を実施している。</p>	<p>4 ● 3 2 1</p>

(11) 国際交流

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
<p>①留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか。</p> <p>各種会議内に学生募集会議を設置している。</p> <p>文部科学省及び法務省出入国在留管理庁の留学生政策を踏まえ、本学としての留学生受け入れ戦略策定している。</p>	<p>● 4 3 2 1</p>
<p>②留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか。</p> <p>留学生の受け入れ、在籍管理は、日本語学科の諸規程によっている。情報ビジネス科は、それを準用する。</p>	<p>● 4 3 2 1</p>
<p>③留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか。</p> <p>留学生の学習・生活指導は、学生支援センター室が行う。</p> <p>組織図に学生支援センター室を明記している。</p>	<p>● 4 3 2 1</p>
<p>④学習成果が国内外で評価される取組を行っているか。</p> <p>各学科の英語標記を明示している。</p> <p>情報ビジネス科の情報経理専攻科（2年課程）と総合ビジネス学科（4年課程）は、専門士及び高度専門士の認定を受け、卒業時に称号を授与している。</p>	<p>● 4 3 2 1</p>

(12) 安全危機管理

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1
①対象となる学生全員が国民健康保険に加入しているか。 学生支援センター室で国民健康保険の加入について、確認している。特に、留学生は、基本的義務として指導している。	● 4 3 2 1
②感染症発生時の措置を定めているか。 職業訓練科で感染症発生時の措置を規定し、各科で準用している。	● 4 3 2 1
③気象警報発令時の措置、災害発生時の避難方法等を定め、教職員及び学生に周知しているか。 職業訓練科で気象警報発令時の措置及び災害発生時の避難方法を定め、各科で準用している。 避難方法について、オリエンテーション時に説明をしているが、訓練の実施を行っている。 また、留学生の災害時避難について更に具体的なマニュアル策定が必要である。災害時の備蓄については、一定程度を行っている。	4 ● 3 2 1

(13) 納付金

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1
①入学検定料、入学金、授業料その他納付金の金額、納付時期、納付方法、及び学費以外に入学後必要な費用を募集要項等に明記しているか。 募集要項に明記している。	● 4 3 2 1
②関係諸法令に基づいた学費返還規程を定め公開しているか。 学費返還規程を定めて、HP で公開している。 広島出入国在留管理局に確認をしている。	● 4 3 2 1
③上記 4. 1 及び 4. 2 については入学志願者、在籍者及びその経費支弁者の理解できる言語で情報公開に努めているか。 国際的言語としての英語表記と志願者が多いベトナム語で情報公開を行っている。さらに、他の国の言語での表記を拡大する必要がある。	4 ● 3 2 1

(14) 次年度への主たる課題

令和5(2023)年度の目標

1. 学生の確保

①日本人学生コース

少人数教育の実績を山口県内の高等学校へPRをし、5名以上の新入生確保を目指す。

②外国人留学生コース

学生ごとの就職対策を行い、就職率を上げる。

日本語学科2年生に対し、就職対策と実績を説明し、80名以上の新入生確保を目指す。

2. 資格取得の拡大と就職支援

①日本人学生コース

簿記検定とPC検定の資格取得をベースに、希望する職種に対応する資格取得へ拡大できるように支援する。

分かりやすい授業を実施し、受験対策時間を確保し、受験機会を増すよう支援する。

②外国人留学生コース

日本語能力検定試験3級・2級の合格率を支援する。

全国経理教育協会簿記検定3級・2級(工業簿記)と文書処理技能検定ワープロ4級・3級・表計算4級・3級の資格取得を支援する。簿記取得については能力別クラス編成を行い、一部の学生を日本人学生のクラスへ組み入れ、合格率を支援する。

特定技能1号の技能検定試験の受験対策を行い、就職に結び付けていく。

3. 文部科学省の専門学校教育改革への対応

2023年

情報ビジネス科自己点検・評価会議担当者

情報ビジネス科長代理	重岡 升美
担当者	金藤 克文